

ジョナサン・トーゴヴニク写真展

「ルワンダ
ジェノサイドから
生まれて」

このたび京都造形芸術大学では、「時代の精神展」※第一回展覧会として、ジョナサン・トーゴヴニク写真展「ルワンダ ジェノサイドから生まれて」を開催いたします。

1994年、中央アフリカの小国ルワンダでジェノサイド(集団殺害)が起きました。100日間で少なくとも80万人の人々が隣人によって殺されたこの出来事は、20世紀最大の悲劇のひとつとして知られています。じつはその際、大勢の女性が「武器」として性的暴力を受け、その結果およそ2万人の子供たちが生まれたという事実は、いまなおほとんど知られていません。母親たちの多くは、深刻な肉体的・精神的トラウマを抱えながら、社会的に孤立した状態で子供を育てており、その半数以上はHIV／エイズにかかっているとも言われています。

ニューヨークを拠点に活躍中の写真家ジョナサン・トーゴヴニクは、約3年間をかけてこうした境遇にある女性たちへのインタビューと撮影を行ないました。ジェノサイドから10年以上が経った今でも、二次被害への恐れや周囲からの偏見が足かせとなり、十分な支援を受けられず貧困に喘いでいる母子は少なくありません。実際、武器としての性的暴力はルワンダに限ったことではなく、過去にも多くの紛争地帯で生じており、現在コンゴやダルフルなど深刻な問題となっています。

この展覧会では、そうした現実を生きる個人ひとりひとりの力強いまなざしに触れ、沈黙の中で語られたその声へと静かに耳を傾けることから始めたいと思います。そこから聞こえてくるのは、単なる絶望などではなく、人がもち得る本当の強さとは何かという問いに対するひとつの返答でもあるかもしれません。

※「時代の精神展」とは

現実の複雑な様相と根気よく向きあい、作品を制作しようとする学生を段階的に育成することを目指して、京都造形芸術大学が2010年度に立ちあげたプログラムです。今後、世界の様々な問題に取り組むアーティストとの協働により、展覧会やワークショップなどを展開してゆきます。



aperturefoundation

本巡回展とそれに伴う刊行物は、写真および視覚芸術分野で活動する非営利団体Apertureにより企画されました。

ジョナサン・トーゴヴニク (Jonathan Torgovnik)

1969年イスラエル生まれ。ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツで写真の学位を取得し、以後フリーランスの写真家として活動を始める。2003年インドの映画産業を追った写真集『Bollywood Dreams』を発表。2005年には「Newsweek」誌の契約写真家となり、現在ニューヨークの国際写真センター(ICP)で後進の指導にもあたる。性的暴力から生まれたルワンダの子供たちの中等教育を支援するルワンダ財団(Foundation Rwanda)の共同設立者。

<http://www.torgovnik.com/>

関連イベント >>>

※事前予約不要 日本語通訳付き

>

11月20日(土) ギャラリー・オープにて

17:30-18:00 アーティスト・トーク

18:00-19:00 オープニング・レセプション

>

11月24日(水) 京都造形芸術大学 人間館102教室にて

18:30-20:00 アーティスト・トーク+ディスカッション

>

※やむを得ない理由により予定が変更になる場合がございます。最新情報やイベント詳細については本展公式ブログをご覧ください <http://jidainoseishin.wordpress.com/>

関連情報 >>>

>写真集

『ルワンダ ジェノサイドから生まれて』

(写真・インタビュー:ジョナサン・トーゴヴニク、翻訳:竹内万里子、赤々舎)

※展覧会期間中、ギャラリー・オープ限定の特別価格(税込2500円)で販売いたします

>東京展・大阪展

ニコンサロン企画展

ジョナサン・トーゴヴニク「ルワンダ ジェノサイドから生まれて」

会場 銀座ニコンサロン

期間 2011年1月19日(水)～2月1日(火)

会場 大阪ニコンサロン

期間 2011年3月24日(木)～4月6日(水)

※会場の都合により、京都展よりも規模を縮小した展示となります

Galerie Aube ギャラリー・オーブ

京都造形芸術大学 人間館1階

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山12-116

telephone : 075 791 9122

facsimile : 075 791 9127

市バス5系統「上終町京都造形芸術大学前」下車すぐ／叡山電鉄叡山線「茶山駅」より徒歩10分
駐車場・駐輪場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

